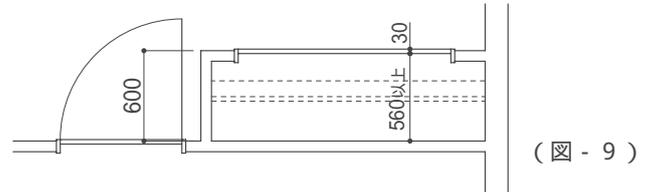


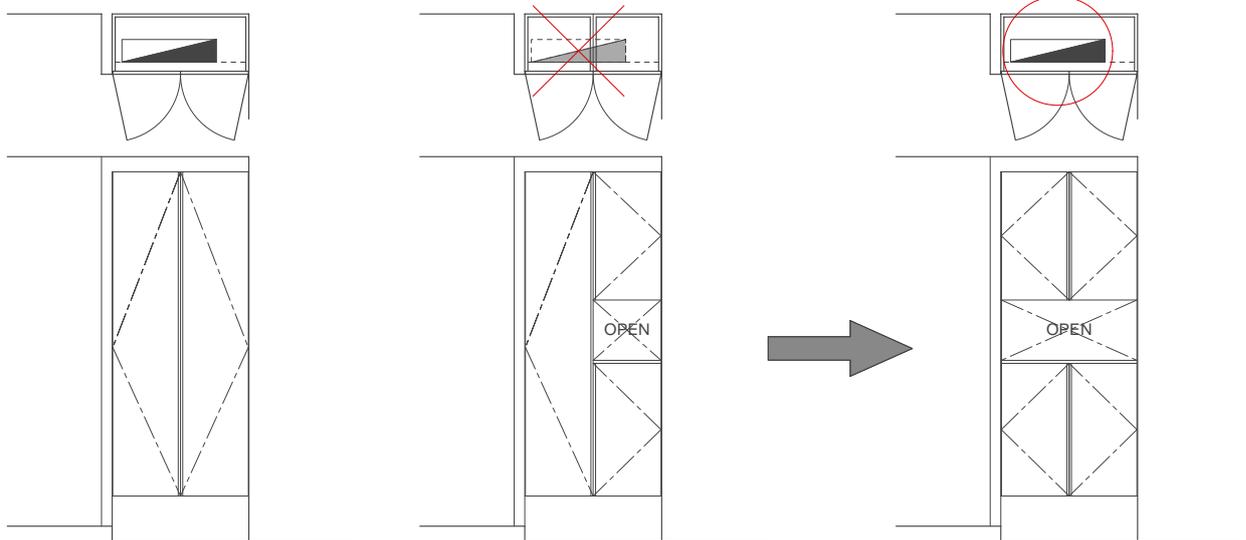
- 11 クローゼットの奥行寸法は、扉内側から奥の壁までの有効寸法を560mm以上確保してください。560mmに満たない場合は洋服を斜めに吊るすようになりますので、その旨お客様にお伝えください。概ねクローゼット内部の壁からクローゼット外側までの距離が600mmで規定の寸法を確保することができます。



(図 - 9)

- 12 エコキュート仕様とする場合。ユニットバスがエコキュート設置階ではなく下階に有る場合は、給湯が正常に行われなためエコキュートはユニットバスと同一階かユニットバスの下階に設置が可能であることを確認してください。

- 13 分電盤の設置位置について。分電盤は下足入れ内部設置を基本としますが、設置には内法寸法で最低650mmの幅が必要です。両開の下足入れで片側だけ中間にニッチカウンターを設ける場合などは、下足入れの構造上箱が2つに分かれてしまうため規定値の確保が出来ない場合が有りますので注意してください。



箱が一体の構造なので
内法650mm確保できる

(図 - 10)

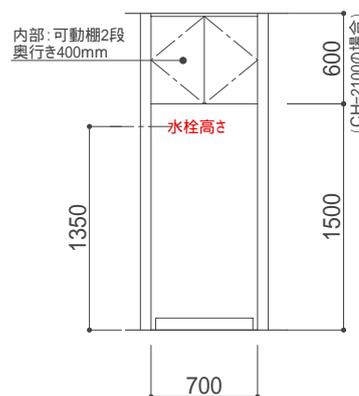
箱が別々の構造なので
内法650mm確保できない

(図 - 11)

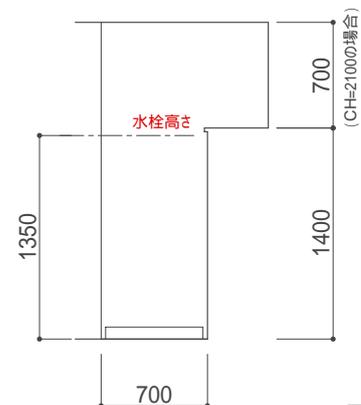
中間のニッチを通して、左右の
収納を一体の構造にする

(図 - 12)

- 14 洗濯機置場の上部に棚及び扉付収納を設置する際の注意点。洗濯機へつなぐ水栓高さは1350mmです。水栓に干渉しないためと上蓋式の洗濯機を使う場合に扉が接触するのを防ぐために、棚及び扉付収納の下端をFL+1500mm以上の高さとしてください。
また、洗濯機置き場の奥にオープン収納スペースを設ける場合はFL+1400mm以上の高さとしてください。(2010年11月5日追記)



(図 - 13)



(図 - 13-2)

- 15 物入について。標準仕様で物入には棚等は付きません。物入の計画がある場合、お客様の使用方法をお伺いして可動棚が必要かどうか確認してください。また、可動棚の奥行きについても確認してください。(奥のものが取り出しにくいので奥行き400mm程度で、手前には掃除機など背の高いものを置く方もいれば、とにかく収納量優先で奥行き深い棚が良いと言われる方もいらっしゃいます。)